



平成28年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成28年1月27日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 アサックス

コード番号 8772 URL <https://www.asax.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 草間 庸文

問合せ先責任者 (役職名) 総務統括部長

(氏名) 松川 雅一

TEL 03-3445-0404

四半期報告書提出予定日 平成28年2月2日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成28年3月期第3四半期の業績(平成27年4月1日～平成27年12月31日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年3月期第3四半期	4,574	11.8	3,074	19.0	3,074	19.0	1,930	22.0
27年3月期第3四半期	4,091	△3.1	2,583	△2.9	2,584	△2.9	1,582	1.7

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年3月期第3四半期	175.61	—
27年3月期第3四半期	144.00	—

(2) 財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年3月期第3四半期	64,474		27,760			43.1
27年3月期	65,918		26,269			39.9

(参考)自己資本 28年3月期第3四半期 27,760百万円 27年3月期 26,269百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
27年3月期	—	0.00	—	40.00	40.00
28年3月期	—	0.00	—		
28年3月期(予想)				40.00	40.00

(注)直前に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成28年3月期の業績予想(平成27年4月1日～平成28年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	5,676	2.3	3,641	0.4	3,641	0.4	2,251	6.5	204.87

(注)直前に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

28年3月期3Q	10,993,500 株	27年3月期	10,993,500 株
----------	--------------	--------	--------------

② 期末自己株式数

28年3月期3Q	1,500 株	27年3月期	1,500 株
----------	---------	--------	---------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

28年3月期3Q	10,992,000 株	27年3月期3Q	10,992,000 株
----------	--------------	----------	--------------

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期財務諸表	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	5
第3四半期累計期間	5
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	6
(継続企業の前提に関する注記)	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	6

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期累計期間におけるわが国経済は、政府による経済対策や金融緩和による企業収益の改善が一段と進み、個人消費においても、雇用・所得環境の改善に伴い総じて底堅く推移する等、緩やかな回復基調で推移いたしました。

一方で、中国を中心とした新興国経済の失速に加えて、中東情勢をめぐる地政学的リスクの高まり等、国内景気を下押しするリスクも見られ、先行き不透明感が払拭できない状況となっております。

不動産金融市場におきましては、回復基調が定着した国内景気と金融緩和により資金調達環境が引き続き良好であることを背景に、商業地を中心とした不動産の流動性は堅調に推移しておりますが、都市部を中心として地価の上昇が見られ、不動産投資市場では過熱感が懸念される等先行きについては留意する必要があります。

このような環境の下、当社におきましては、首都圏の不動産の流動性を背景に積極的な顧客開拓を行いつつも、過熱する不動産投資市場への警戒感から、従来通り「債権の健全性」を重視して健全な債権内容の維持に努めてまいりました。

その結果、当第3四半期会計期間末における営業貸付金残高は、前事業年度末の63,166,811千円から1,134,434千円(1.8%)減少の62,032,376千円となりました。

当第3四半期累計期間における経営成績は以下の通りであります。

営業貸付金利息は、期中平均営業貸付金残高が前年同四半期比8.2%増加となったこと等により、前年同四半期比303,112千円(9.0%)の増加となりました。その他の営業収益は、期中回収額が前年同四半期比53.0%の増加となったことに伴い、解約違約金が前年同四半期比116,774千円(70.3%)の増加となったこと他、保証事業による収入が増加したこと等により、前年同四半期比180,478千円(25.0%)の増加となりました。

以上により、当第3四半期累計期間における営業収益は、前年同四半期比483,591千円(11.8%)の増加となりました。

金融費用は、期中平均有利子負債残高が前年同四半期比7.5%の増加となったものの、平均調達金利が低下したこと等により、前年同四半期比30,926千円(5.4%)の減少となりました。

その他の営業費用は、前年同四半期においては△13,445千円であった貸倒引当金繰入額が△1,300千円となり、12,145千円の増加要因となったこと等により、前年同四半期比23,820千円(2.5%)の増加となりました。

以上により、当第3四半期累計期間における営業費用は、前年同四半期比7,105千円(0.5%)の減少となりました。

営業外損益、特別損益ともに利益に大きな影響を与えるものはなく、法人税等合計は前年同四半期比144,276千円(14.4%)の増加となりました。

以上の結果、当第3四半期累計期間における業績は、営業収益は4,574,835千円(前年同四半期比11.8%増)、営業費用は1,500,467千円(同0.5%減)、営業利益は3,074,368千円(同19.0%増)、経常利益は3,074,922千円(同19.0%増)、四半期純利益は1,930,407千円(同22.0%増)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

① 資産の部

流動資産

当第3四半期会計期間末における流動資産は、前事業年度末の64,740,753千円から992,966千円(1.5%)減少の63,747,787千円となりました。これは主として現金及び預金が101,042千円(7.8%)増加した一方、営業貸付金が1,134,434千円(1.8%)減少したこと等によるものであります。

固定資産

当第3四半期会計期間末における固定資産は、前事業年度末の1,177,808千円から451,435千円(38.3%)減少の726,373千円となりました。これは主として、投資その他の資産の関係会社株式が、子会社の清算に伴い431,086千円(97.7%)の減少となったこと等によるものであります。

② 負債の部

流動負債

当第3四半期会計期間末における流動負債は、前事業年度末の16,098,166千円から1,816,674千円(11.3%)減少の14,281,492千円となりました。これは主として、1年以内返済予定の長期借入金が1,560,997千円(10.3%)の減少、未払法人税等が225,423千円(31.1%)の減少となったこと等によるものであります。

固定負債

当第3四半期会計期間末における固定負債は、前事業年度末の23,550,435千円から1,118,455千円(4.7%)減少の22,431,979千円となりました。これは主として、長期借入金が1,100,857千円(4.9%)減少したこと等によるものであります。

③ 純資産の部

配当金の支払い439,680千円があった一方、四半期純利益を1,930,407千円計上したことにより、利益剰余金が前事業年度末比1,490,727千円(6.2%)の増加となり、当第3四半期会計期間末における純資産は、前事業年末の26,269,960千円から1,490,727千円(5.7%)増加の27,760,688千円となりました。なお、自己資本比率は43.1%(前事業年度末は39.9%)となりました。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第3四半期累計期間における業績は、平成27年4月27日発表の業績予想を上回る水準となりましたが、その要因は「(1) 経営成績に関する説明」に記載いたしました通り、期中回収額が前年同四半期を大きく上回ったことによるその他の営業収益の増加の影響が大きく、また、営業貸付金残高は、第3四半期会計期間末現在で前事業年度末比1.8%の減少となっていること、競争が激化していること等を勘案し、通期業績予想につきましては、平成27年4月27日に発表いたしました業績予想からの修正は行っておりません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期財務諸表

(1) 四半期貸借対照表

(単位:千円)

	前事業年度 (平成27年3月31日)	当第3四半期会計期間 (平成27年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,288,764	1,389,807
営業貸付金	63,166,811	62,032,376
販売用不動産	1,367	20,867
前払費用	40,654	37,848
繰延税金資産	73,114	64,537
その他	239,740	270,749
貸倒引当金	△69,700	△68,400
流動資産合計	64,740,753	63,747,787
固定資産		
有形固定資産	128,455	123,650
無形固定資産	27,683	24,147
投資その他の資産		
その他	1,021,670	578,574
投資その他の資産合計	1,021,670	578,574
固定資産合計	1,177,808	726,373
資産合計	65,918,561	64,474,160
負債の部		
流動負債		
1年以内返済予定の長期借入金	15,191,340	13,630,342
未払金	56,134	30,076
未払費用	50,474	56,719
未払法人税等	724,470	499,047
預り金	11,238	27,406
前受収益	30,820	25,079
賞与引当金	24,548	3,703
利息返還損失引当金	9,100	9,100
その他	37	16
流動負債合計	16,098,166	14,281,492
固定負債		
長期借入金	22,502,188	21,401,330
退職給付引当金	46,800	50,600
役員退職慰労引当金	993,413	969,450
その他	8,033	10,599
固定負債合計	23,550,435	22,431,979
負債合計	39,648,601	36,713,472
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,307,848	2,307,848
利益剰余金	23,963,362	25,454,090
自己株式	△1,250	△1,250
株主資本合計	26,269,960	27,760,688
純資産合計	26,269,960	27,760,688
負債純資産合計	65,918,561	64,474,160

(2) 四半期損益計算書
(第3四半期累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)	当第3四半期累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)
営業収益		
営業貸付金利息	3,369,684	3,672,796
その他の営業収益	721,560	902,039
営業収益合計	4,091,244	4,574,835
営業費用		
金融費用	569,480	538,553
その他の営業費用	938,092	961,913
営業費用合計	1,507,573	1,500,467
営業利益	2,583,671	3,074,368
営業外収益		
受取利息	144	162
受取手数料	105	61
償却債権取立益	90	100
雑収入	679	386
営業外収益合計	1,019	710
営業外費用		
雑損失	—	155
営業外費用合計	—	155
経常利益	2,584,690	3,074,922
特別利益		
固定資産売却益	—	1,504
特別利益合計	—	1,504
税引前四半期純利益	2,584,690	3,076,427
法人税、住民税及び事業税	946,401	1,130,069
法人税等調整額	55,341	15,950
法人税等合計	1,001,742	1,146,019
四半期純利益	1,582,947	1,930,407

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。